



国内リテール事業 ※1		2022年						2023年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	102.3%	100.1%											101.2%
	客数	98.7%	98.3%											98.5%
	客単価	103.6%	101.8%											102.7%
	対象店舗数	571店	570店											570店
	土日休日数増減	0日	-1日											-1日
全店	売上高	104.2%	102.1%											103.2%
	対象店舗数	604店	605店											605店
	前年同月店舗数	586店	587店											587店

※1 (株)ドン・キホーテ、(株)長崎屋、UDリテール(株)、(株)橘百貨店、ユニー(株)

- 国内リテールは、お盆を含む中旬までは、行動制限がない夏休みと言う事で、スポーツレジャーを中心に幅広いカテゴリーが好調に推移し売上に寄与しています。下旬から月末にかけては、早期梅雨明けによる季節商品需要の前倒しにより、勢いが鈍化しましたが、6月～8月の夏季期間累計は、前年を大きく上回り好調に着地しました。休日1日減少の影響は▲1.1ptです。
- ディスカウント事業は、休日1日減少の影響を除くと立地、業態、全てのエリアで前年を上回っています。特に、コロナの規制が解除された4月以降は、着実に21時以降の夜間帯の売上と客数が伸長しています。商品別では、アウトドア、夏のレジャー用品、水着、花火、旅行関連などの需要が高く既存店の押上げに貢献しています。休日1日減少の影響は▲1.3ptです。
- GMS事業は、外食の代替需要の剥落により、食品・生鮮食品の売上が前年割れしています。一方、非食品は、前月より売上比が改善しています。特に、衣料品は、中旬以降の巻き返しにより、婦人服、紳士服など多くの部門で売上が伸長しています。また、住居関連は、化粧品、スポーツ、玩具、自転車などで売上が改善し、前年並みで着地しています。休日1日減少の影響は▲0.8ptです。

<9月度 新規出店予定>

(1)ドン・キホーテ：① 9月9日「荒尾店(熊本県荒尾市)」



※2 ディスカウント事業		2022年						2023年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	103.6%	101.5%											102.6%
	客数	99.5%	99.3%											99.4%
	客単価	104.1%	102.2%											103.1%
	家電製品	95.4%	97.2%											96.2%
	日用雑貨品	107.8%	104.6%											106.2%
	食品	102.6%	98.9%											100.7%
	時計・ファッション用品	105.3%	107.3%											106.2%
	スポーツ・レジャー用品	102.1%	102.7%											102.4%
対象店舗数	437店	439店											439店	
全店	売上高	106.6%	104.4%											105.5%
	対象店舗数	468店	469店											469店
	前年同月店舗数	447店	448店											448店

※2 (株)ドン・キホーテ、(株)長崎屋、UDリテール(株)、(株)橋百貨店

※3 GMS事業		2022年						2023年						通期
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
既存店	売上高	99.0%	96.3%											97.7%
	客数	96.8%	96.1%											96.4%
	客単価	102.3%	100.3%											101.3%
	衣料品	94.4%	100.8%											97.0%
	住居関連品	98.4%	99.1%											98.7%
	食品	100.1%	95.2%											97.6%
	対象店舗数	134店	131店											131店
全店	売上高	98.3%	96.6%											97.4%
	対象店舗数	136店	136店											136店
	前年同月店舗数	139店	139店											139店

※3 ユニー(株)